

浅口市立六条院小学校令和8年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和8年10月9日公表

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科は、正答率が全国・県平均を上回っている。特に、漢字の書き取りや、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめることがよくできている。 ○算数科は、正答率が全国・県平均を上回っている。特に知識・技能の観点において正答率が高く、学習の基礎・基本は身に付いていると言える。 ○国語科・算数科ともに、無回答率が低い。 <課題> ▲国語科では、自分の考えが相手に伝わるよう表現を工夫したり、筋道の通った文章構成や展開を考えたりする問題の正答率が低かった。 ▲算数科では、変化と関係領域において、単位量当たりの問題、基準量、比較量、割合の関係を捉える問題での正答率が低かった。	<成果> ○国語・算数が大切だと思うと回答した児童の割合が高い。 ○学習の中でタブレットなどの学習者用端末をほぼ毎日使用している。また学習者用端末を活用して情報を収集・整理・まとめることができると回答した児童の割合が高い。 ○分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫できると回答した児童の割合が高い。 ○平日に1時間以上学習をしている児童が多い。 <課題> ▲平日に1日2時間以上、SNS や動画視聴をしていると答えた児童は全体の6割程度いる。またそうした児童は各教科の平均正答率が低い傾向にあった。



改 善 策
学 校 で の 取 組
1 「六小っ子 学習の約束」を基本にした授業づくり ・学習の準備 ・姿勢 ・話の聞き方 ・発表の仕方 ・学習用具など 2 基礎学力の定着のための取組 ・朝自習の時間に各学年でプリント(国・算)に取り組んだり、読書をしたりすることで、基礎学力の定着を図る。 ・月曜日1校時を「ぐんぐんタイム」とし、国語科、算数科の基礎・基本の習熟に充てる。 ・基礎・基本の定着状況を把握し、朝自習の時間や「ぐんぐんタイム」の学習内容に効果的に生かす。 ・基本的生活習慣を整え、家庭学習の習慣化を図ることができるようするために、年間3回メディアコントロールがんばりカードに取り組む。自身のメディア利用時間を把握し、2時間以内に抑えられるよう自己調整を行うことができるようにする。 ・年度初めに家庭学習の手引きを示す。また自主学習ノートを廊下に掲示したり、ブログにアップしたりすることで、自主学習の内容を自分で決めて取り組むことができるようにする。 ・読解力を養うため、全校で週末読書に取り組む。音読カードにも明記する。 3 国語科・算数科の重点的な指導 ・国語科…国語科の書くことにおいて、自分の考えが相手に伝わるよう表現を工夫したり、筋道の通った文章構成や展開を考えたりすることができるよう指導を行う。また、説明的文章の読解においては、文章構成の読み取りにとどまらず、内容をおおまかに把握する力を育成する。

- ・算数科…夏季研修で算数科の変化と関係領域における系統性について学校全体で確認した。これを基に授業を工夫し、児童の学びをつなぐ指導を展開していく。

4 児童理解に基づく学級経営の推進

- ・教育相談による、不安や悩みの早期解消・早期対応を行う。
- ・i-checkの結果分析による児童理解を行う。

あい・かもがた学園 での 取 組

- カリキュラム「あい・かもがた学」に沿って、中学校区で一貫した指導を行い、基礎学力の定着、学び合い活動の充実を図り、自立した学習者を育成する。
- 「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して、互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。
- 各校の授業参観や研修、情報交換の機会を設け、対話を通して考えを深めることや、振り返りを次の学びにつなげることについて、校種を超えて共通理解を図る。

家庭・地域へのお願い

- 全国学力・学習状況調査の個票をもとに、ご家庭で今一度、学習の仕方や自主学習の内容を一緒にご確認いただき、学習時間の確保へのご協力をお願いします。宿題・自主学習については、「家庭学習のしおり」、各学年で配付している「自主学習の手引き」、ブログでアップしている「きらきら（自主学習）ノートだより」を参考にしてください。
- 家庭でのメディア使用のルールや、メディアとのより良い付き合い方について話をしてください。
- 登下校の様子や挨拶など、児童の日々の様子で気付かれたことがあれば、ぜひ学校までお知らせください。地域での児童の良い行いも教えてくださると大変励みになります。